

# 授業科目 生活援助技術Ⅴ

【担当教員名】 石橋 富美世		対象学年	3	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	○	○	
【概要・一般目標：G10】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害・言語障害の特性に応じた介護に関する知識を習得する。</li> <li>・手話を用いて、聴覚障害者・言語障害者とコミュニケーションを図る能力を身につける。</li> </ul>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 聴覚障害者・言語障害者の特性に応じた介護に関する知識を習得することができる。</li> <li>2 介護技術としての手話について理解し、技術を習得することができる。</li> <li>3 手話を用いてコミュニケーションを図ることができる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	聴覚・言語障害者の医学的理解			1	講義
2	聴覚・言語障害者の生活の理解			1	講義
3	聴覚・言語障害者の介護			1	講義
4	福祉用具の活用			1	講義
5	聴覚・言語障害のある高齢者の特徴と介護			1	講義
6	コミュニケーションを図るうえでの留意点			1	講義・演習
7	介護技術としての手話			2,3	演習
8	介護技術としての手話			2,3	演習
9	介護技術としての手話			2,3	演習
10	介護技術としての手話			2,3	演習
11	介護技術としての手話			2,3	演習
12	介護技術としての手話			2,3	演習
13	介護技術としての手話			2,3	演習
14	介護技術としての手話			2,3	演習
15	まとめ			1, 2, 3	講義・演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		随時プリントを配布する 映像教材を使用する			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
1. 出席 2. 課題提出レポート 3. 定期試験を総合して評価する			聴覚・言語障害者の当事者参加や、障害を正しく理解する学習の機会を予定しているので、専門職に求められる倫理や価値観を基本において、真摯に取り組んでほしい。		